

2019年1月30日

株式会社 富士経済  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
 1番5号 PMO 日本橋江戸通  
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL.03-3664-5697  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

## リチウムイオン二次電池世界市場を調査

2022年予測(2017年比)

リチウムイオン二次電池世界市場 7兆3,914億円(2.3倍)

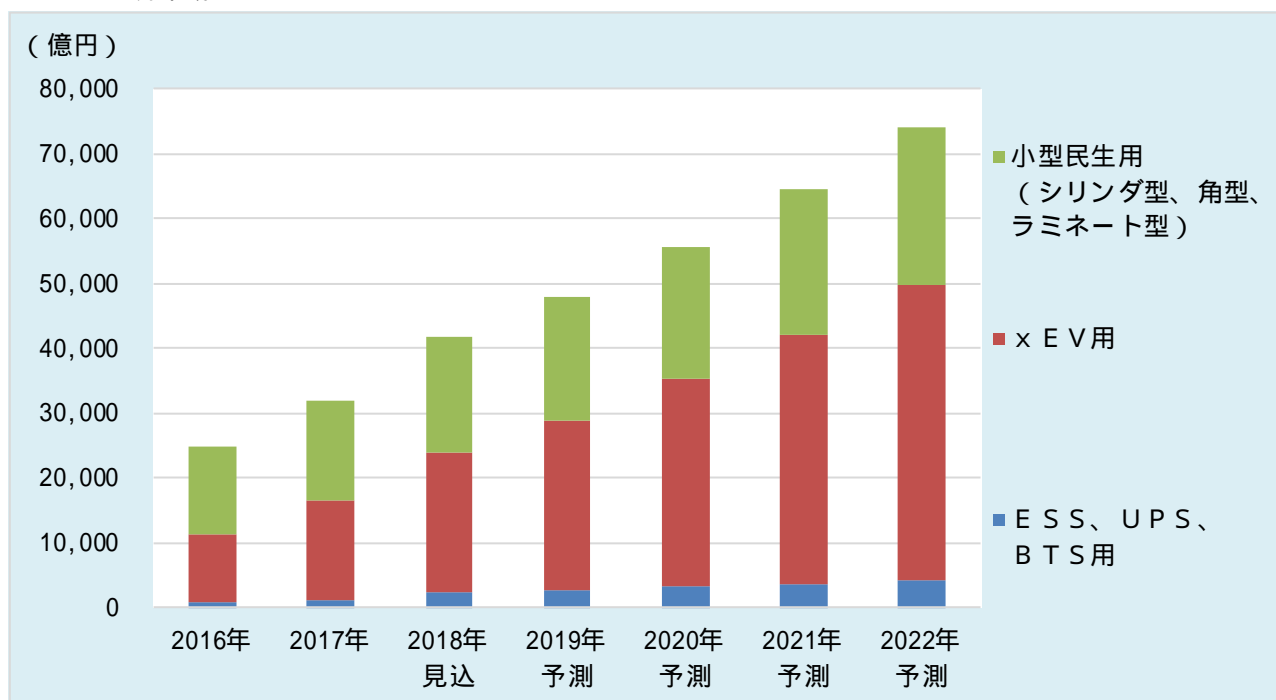
～ 自動車の電動化が進み×EV用が市場をけん引し拡大 ～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、リチウムイオン二次電池への切り替えや×EV用、ESS(電力貯蔵システム)、UPS(無停電電源装置)、BTS(携帯電話基地局)用での需要増加によって拡大しているリチウムイオン二次電池市場(以下、LIB)について調査した。その結果を「2018 電池関連市場実態総調査 No.2」にまとめた。

この調査では、「小型民生用(シリンダ型、角型、ラミネート型)」「×EV用」「ESS、UPS、BTS用」の3品目のLIBをはじめとする二次電池8品目、一次電池8品目、LIB用制御部品5品目、LIB主要応用製品4品目、計25品目の市場を調査・分析した。

<注目市場>

LIB世界市場



小型民生用はシリンダ型が中心である。シリンダ型はTeslaをはじめとするEVで使用されており、需要が増加している。また、充電式電動工具や電動アシスト自転車向けも“ニカド電池からリチウムイオン二次電池へ”という流れが加速しており、好調である。角型はラミネート型への切り替えの影響から縮小していくとみられるが、ラミネート型はスマートフォンやウェアラブルデバイス向けが好調であり、小型民生用市場は拡大していくと予想される。

×EV用は中国などを中心に市場が拡大している。中国では、乗用車のほか、バスや物流などの専用車で電動化が進んでおり、今後も市場は大幅に拡大していくとみられる。

ESS、UPS、BTS用では、再生可能エネルギー発電の普及に伴いESSで需要が増加している。BTSでは鉛蓄電池からLIBへの切り替えが進み好調である。また、5Gのサービスが2019年に欧米で、2020年には日本で開始になるとみられ、これによりBTSでLIBの需要増加が期待される。

< 調査結果の概要 >

二次電池・一次電池世界市場

	2018年見込	2017年比	2022年予測	2017年比
二次電池	8兆5,057億円	115.2%	11兆5,039億円	155.8%
一次電池	1兆 197億円	101.3%	1兆 791億円	107.2%
合計	9兆5,254億円	113.5%	12兆5,830億円	149.9%

二次電池は、L I Bが好調である。x E V用やE S S、U P S、B T S用で伸びているほか、充電式電動工具向けも伸びている。L I B以外では、鉛蓄電池が自動車・二輪車向けの伸長で好調である。また、リチウム二次電池（コイン）はB l u e t o o t hヘッドセットや充電式補聴器、ウェアラブル端末で需要が増加している。これらの好調な電池がけん引し、今後も市場は拡大していくとみられる。

一次電池は、アルカリマンガン乾電池が堅調に伸びている。先進国では、マンガン乾電池からアルカリマンガン乾電池への切り替えが落ち着いたが、新興国ではアルカリマンガン乾電池への切り替えが続いている。今後も新興国向けを中心とした需要増加が期待される。また、空気亜鉛電池は従来からの補聴器向けと集音器向けで伸びている。塩化チオニルリチウム電池はスマートメーター向けが好調であり伸びている。これらの好調な電池がけん引し、今後も市場は拡大していくとみられる。

< 調査対象 >

<b>一次電池</b>	
・マンガン乾電池	・二酸化マンガンリチウム電池（コイン）
・アルカリマンガン乾電池	・二酸化マンガンリチウム電池（シリンダ）
・アルカリボタン電池	・塩化チオニルリチウム電池
・酸化銀電池	・空気亜鉛電池
<b>二次電池</b>	
・鉛蓄電池	・リチウムイオン二次電池（x E V用）
・ニカド電池（小型）	・リチウムイオン二次電池
・ニッケル水素電池（小型）	（E S S、U P S、B T S用）
・ニッケル水素電池（大型）	・リチウム二次電池（コイン）
・リチウムイオン二次電池	
（小型民生用：シリンダ型、角型、ラミネート型）	
<b>L I B用制御部品</b>	
・電池用保護I C（1セル直列タイプ）	・電池残量計
・電池用保護I C（多セルタイプ）	（スマートフォン向け、ノートブックP C向け）
・電池用保護I C	・電池用電流制御・遮断機
（セカンドプロテクションタイプ）	（ポリマーP T C、ブレーカー、ヒューズ+抵抗体）
<b>L I B主要応用製品</b>	
・ノートブックP C	・充電式電動工具
・スマートフォン	・中国E V・P H E V

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業および関連企業・団体などへのヒアリングおよび関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2018年8月～10月

以上

資料タイトル：「2018 電池関連市場実態総調査 No.2」

体 裁：A4判 271頁  
価 格：書籍版 150,000円+税  
PDF版 150,000円+税  
書籍/PDF版セット 170,000円+税  
ネットワークパッケージ版 300,000円+税

発 行 所：株式会社 富士経済  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通  
TEL：03-3664-5811(代) FAX：03-3661-0165  
URL：<https://www.fuji-keizai.co.jp/> e-mail：[info@fuji-keizai.co.jp](mailto:info@fuji-keizai.co.jp)

調 査・編 集：大阪マーケティング本部 第四部  
TEL：06-6228-2020 FAX：06-6228-2030

この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL：<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>